

2005年8月期 本決算を発表

連結業績

(単位：億円)

	2005年8月期 実績 (前年比)		2006年8月期 予想 (前年比)	
売上高	3,839	(+12.9%)	4,350	(+13.3%)
売上総利益 (売上比)	1,702 44.3%	(+4.3%) (3.6p)	2,020 46.4%	(+18.6%) (+2.1p)
販管費 (売上比)	1,135 29.6%	(+14.5%) (+0.4p)	1,340 30.8%	(+18.0%) (+1.2p)
営業利益 (売上比)	566 14.8%	(11.4%) (4.0p)	680 15.6%	(+19.9%) (+0.9p)
経常利益 (売上比)	586 15.3%	(8.7%) (3.6p)	690 15.9%	(+17.7%) (+0.6p)
当期純利益 (売上比)	338 8.8%	(+8.0%) (0.4p)	379 8.7%	(+11.9%) (0.1p)

【2005年8月期決算】増収・減益

2005年8月期の連結業績は売上高3,839億円(前年比12.9%増)、経常利益586億円(同8.7%減)、当期純利益338億円(同8.0%増)と増収・減益の決算となりました。まず、連結売上高の95%を占める国内ユニクロ事業(単体)ですが、売上高は3,653億円(前年比8.8%増)、経常利益582億円(前年比10.5%減)となりました。直営店の出店は69店舗、閉店31店舗(純増38店舗)、期末店舗数は664店舗(フランチャイズ店を含めると679店舗)です。一方、既存店売上高は前年比0.6%増と前年を上回ることができましたが、残念ながら期初計画の前年比3.6%増からは下回りました。天候不順・春物不振などにより客数が1.2%増にとどまったこと、客単価が0.6%減になったことが要因です。

期中においては、動きの悪い商品の早めの処分を進めた結果、単体ベースの売上総利益率は44.5%と前年比3.7ポイント悪化いたしました。しかし、2005年8月期末の在庫水準はほぼ前年並みと、適正在庫を維持することができました。販管費は人員数増加(本部および店舗)に伴う人件費増や店舗数増加による賃借料増加などを要因として前年比8.8%増となっております。

海外ユニクロ事業につきましては、中国ユニクロ事業が初めて黒字を達成いたしました。この他、2005年8月期から連結対象会社として、靴小売りチェーンを展開するワンゾーン、フランスを中心に「コントワー・デ・コトニエ」ブランドを展開するネルソン フィナンスが新たに加わりました。2005年3月に買収したワンゾーンは、在庫処分などのリストラを進めた結果、2005年8月期では6.2億円の経常赤字となりましたが、債務免除益などの特別利益の影響もあり当期純利益で10.7億円を計上することができました。一方、ネルソン フィナンスはヨーロッパ市場における店舗増により順調に業績を拡大しております。ただ、2005年8月期のファーストリテイリングの連結決算には、買収に伴う連結調整勘定償却(のれん代の償却)42億円が発生しております。

この他、連結決算には、2005年6月に東証マザーズへの上場を果たしたリンク・セオリー・ホールディングス(LTH)の「持分法による投資利益」10.8億円を営業外利益として、また、LTHが上場・公募増資を行ったことによる「持分変動による投資差益」として特別利益(26.1億円)が計上されております。尚、期末配当金65円を予定しており、年間配当金は130円となる見込みです。

【2006年8月期 予想】

2006年8月期の連結業績では、売上高4,350億円、前期比13.3%増、経常利益690億円、前期比17.7%増、当期利益379億円、前期比11.9%増と増収・増益を計画しております。国内ユニクロ事業では既存店売上高前年比100%を予想しております。また、直営店の店舗数は出店74店、純増35店、期末店舗数699店(フランチャイズ店を含めると718店)を予定しております。この他、ウィメンズインナー専門店(BODY by UNIQLO)、キッズ専門店(ユニクロ キッズ)の出店も予定しております。

ファーストリテイリンググループは「2010年グループ売上高1兆円」の目標を掲げており、ユニクロ海外事業としては「2010年売上高1,000億円」を目指しております。このため、2005年秋から海外展開を本格化し、従来から展開している英国、中国に続き、韓国、米国、香港に初出店をいたしました。また、英国のリージェントストリート店を増床・リニューアルしてユニクロの旗艦店としました。英国事業は2006年8月期は黒字化の見込みです。

また、「コントワー・デ・コトニエ」の日本展開を予定しているコントワー・デ・コトニエ ジャパンは2006年春から出店開始を予定しております。リンク・セオリー・ホールディングスの「持分法による投資利益」も引きつづき連結利益への寄与を見込んでおります。2006年8月期の年間配当金といたしましては、130円を予定しております。(連結ベースの配当性向34.9%)

【11月1日から持株会社体制に移行】

ファーストリテイリングは、2005年11月1日に持株会社体制に移行する予定です。ユニクロ事業の再強化や海外事業・新規事業へのさらなる挑戦のために、個々の事業を峻別し、採算性や責任体制の明確化をはかること、迅速な事業提携や機動的な資本参加などを進めることが不可欠だと判断したためです。また、委任型執行役員制度および社外取締役制度を導入しました。これにより革新性のあるスピード経営とガバナンス体制の強化を実現していきます。

【第三世代SPA(情報発信小売業)を目指す】

第一世代のSPA(製造小売業)は製販一体で単品を大量販売し、第二世代SPAはさらに進化し、ファッションとトレンドを売ることで急成長を果たしました。そして今、ファーストリテイリングは誰も到達していない第三世代SPA(情報発信小売業)を目指しております。第三世代SPAは世界中で最高の情報を独自の視点で収集・編集して生み出された「コンセプト」を基にすべての事業をまわしていくというものです。そして、この実現のためにニューヨークのデザインスタジオを中心としたR&Dセンターを立ち上げました。また、メンズ、ウィメンズ、キッズといった商品別の事業部制に組織を作り変えております。

新しい商品開発体制で世界中から集めた高感度の情報を編集・発信しながら、最高品質の商品を製造・販売していく世界一のカジュアル企業をめざしてまいります。

(注) IR情報 (<http://www.fastretailing.co.jp/ir/index.html>) に決算データや各種リリースなどを開示しております。詳細についてはこちらをご確認ください。